

CLD NOx分析計

S4 QUASAR

加熱真空式 化学発光NOx分析計

高真空・化学発光方式によるNOx・NO・NO2・アンモニア連続測定用分析計。デュアル検出器仕様ではNO・NO2・NOxを同時に連続表示でき、高い応答性と柔軟な操作性を両立しています。エンジン排ガス測定や燃焼研究の分野で広く採用されています。



測定対象ガス：NO、NO2、NOx、NH3

主な用途：エンジン・車両試験、環境・排ガス監視、研究開発・大学

■ 特長

- ・ドライ真空ポンプによる高真空仕様、大気圧仕様も選択可
- ・デュアル検出器によるNO・NO2・NOxの連続同時測定
- ・加熱（Hot）・非加熱（Cold）仕様を選択可能
- ・全自動運転、ワイヤレスタブレット対応
- ・微量ppm測定を標準対応、高濃度（%）レンジも対応
- ・準拠規格例：EN14792、EPA Method 7e、EURO VI/VII、ARP1256

■ 主な仕様

測定方式	化学発光法（CLD）
測定対象	NO/NO2/NOx（NOxコンバーター仕様）、TN：全窒素化合物（NH3コンバーター仕様）
測定レンジ	レンジA：0-1,000ppm（分解能0.01ppm）／レンジB：0-10,000ppm（分解能0.1ppm）／レンジC：0-100,000ppm（分解能1ppm）
表示単位	ppm または mg/m3（選択可）
電源	AC100-250V ユニバーサル または DC24V

※ 本資料は銘田株式会社で作成した日本語参考資料です。記載の仕様は代表値であり、予告なく変更される場合があります。正式な仕様はメーカー発行の資料または当社までご確認ください。